

(表紙)

地震に強い都市づくり推進五箇年計画

埼玉県三芳町

平成27年3月

(様式 1)

地区名

都道府県名	埼玉県	市町村名	三芳町	地区要件	大規模地震発生の可能性の高い地域
地区名	三芳町地区	地区面積	15.33 km ²		

地区の概要

<p>地区の選定理由</p> <p>三芳町は東京から 30km 圏内に位置し、埼玉県の南西部、武蔵野台地の北東部にあたる。面積は 15.33 km²で、東西は 6.9km、南北は 4.2km にわたり、大部分の標高は 25m~45m ほどのなだらかな起伏を有しながら西から東へ緩やかに下る勾配を持つ平坦な台地である。河川は東南端を流れる柳瀬川以外はなく、北部には都市下水路の砂川堀、排水路として南部に唐沢堀、東部に江川がある。</p> <p>人口は平成 14 年以降、年々微増傾向にあるが、少子高齢化が進んでいる。東武東上線に近い東部に人口が集中している一方、関越道や国道 463 号の通る西部・南部は事業所が多く、昼夜間人口比率は県内ではさいたま市大宮区に次いで高い。</p> <p>過去の自然災害としては、近年の地震では東日本大震災(町計測震度 5 弱)の被害が最も大きく、竹間沢を中心に広範囲での停電が発生したほか、建物の一部損壊が数十件発生した。直接の人的被害はなかった。また、近年の風水害の被害状況は、大災害に該当するものではなく、比較的小規模な床下、田畑浸水が報告されたのみである。</p> <p>ただし、首都直下地震緊急対策区域に指定されており、都心南部地震(中央防災会議首都直下地震対策検討 WG 想定)や東京湾北部地震(埼玉県想定)が発生した場合、最大震度 6 弱の揺れが想定されている。北部から東部にかけては木造住宅の密集した地域が多く、また、荒川や柳瀬川が氾濫した際には竹間沢東地区で最大 2m 程度の水没が想定されている上、町内各所でゲリラ豪雨等による内水氾濫の発生が課題となっている。</p>
<p>都市基盤施設の整備(耐震化)状況</p> <p>① 道路 緊急輸送道路とされている町道・跨道橋については日常的な点検を行っており、また、拡幅等も随時実施している。</p> <p>② 避難地等 建築物については平成 20 年度に別途「三芳町建築物耐震改修促進計画」を策定済みで、これを基に、指定避難所となる町内 8 小中学校のうち 7 小中学校の耐震化が平成 25 年度までに実施され(残り 1 校は耐震補強の必要なし)、昭和 56 年以前に建てられた拠点建築物の改修・補強等が進んでいるところである。</p> <p>③ ライフライン施設 上水道施設は、耐震性の低い石綿セメント管の更新事業は平成 17 年度に終了しているが、引き続き铸铁管や水道配水用ポリエチレン管を始めとした耐震性の高い配水管の敷設を進めている。また、浄水場施設 1 箇所の耐震補強として、平成 23 年度に着水井及び浄水池各 1 箇所、平成 24~25 年度に配水塔 1 基の耐震補強を実施した。引き続き、浄水場施設の耐震化を推進する。今後、非常時に備え、隣接市と相互に配水を融通しあう「緊急連絡管」の整備に向けた協議を進める。</p> <p>④ その他(密集市街地、大規模盛土造成地等) 富士塚拠点ゾーン地区の都市基盤整備を平成 26 年度より実施しており、緊急輸送道路となる幹線道路の拡幅、避難地となる公園の整備及び公園内の防災設備の整備、耐震性貯水槽の整備など、防災機能を取り入れた都市再整備を実施する計画となっている。</p>

また、災害時の音声通話以外の通信手段を確保するため、太陽光発電を非常電源に持つ防災情報ステーションの設置を平成 26 年度までに実施している。

(様式 2)

整備目標等

計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (五箇年)
対象とする地震	首都直下地震 (都心南部地震、東京湾北部地震等) 上記地震が発生した際、当町では最大で震度 6 弱の揺れが想定されている。また、30 年以内に 70% の確率で発生すると目されている。
本計画で確保する防災性能	<p>①道路 各避難所等を結ぶ緊急輸送道路の保全および拡幅を通じ、災害時における安全性や輸送力を高める。</p> <p>②避難地等 避難所として指定している町内全小中学校や、多くの幼児等が集まる保育所など、公共施設の耐震化を通じ、災害時における安全性を高める。</p> <p>③ライフライン施設 浄水場の耐震化を実施して震災時の被害軽減に努める。</p> <p>④その他 情報伝達、収集体制の強化 住民に対する防災情報伝達方法を拡充するため、防災行政無線のデジタル化を推進しながら聴取可能エリアの拡大を図りつつ、機器の更新を行いながら防災行政無線と連携した情報伝達システムの構築を図っていく。 また、太陽光発電パネルを搭載した防災情報ステーションを役場庁舎ならびに町内 3 公民館に設置し、通常時はサイマルラジオにより地域情報を伝達し、発災時には Wi-fi のフリースポットとして開放し、個人所有の情報端末で利用可能な状態にし、帰宅困難者を含めた住民が広く情報収集できるシステムを構築する。</p> <p>④その他 町内施設の災害体制強化 藤久保小学校内に耐震性貯水槽の設置を進め、水源の確保に努め、また、都市基盤整備事業として整備する公園内に防災施設を設置し、災害時の活用を図る。</p>

(様式3)

地震防災対策の概要(重点実施事業)

整備項目	実施事業名	事業地区名	事業主体	事業規模 (面積・延長・幅員等)	事業期間	概算事業費	補助対象施設の特例適用の有無
①道路	町道幹線17号線道路改良工事	藤久保地区	三芳町	27.6m	H23	1,155千円	無
	町道幹線7号線(都市計画道路)改良工事	藤久保地区	三芳町	都市計画道路竹間沢・大井・勝瀬通り線うち47.5m	H24	7,161千円	無
②避難地等	小中学校耐震化工事	三芳町地内	三芳町	小学校5校、中学校2校の校舎および屋内運動場	H13~25	1,659,000千円	無
	保育所耐震化工事	三芳町地内	三芳町	町立保育所2園	H24~26	816,210千円	無
③ライフライン施設	浄水場耐震化工事	三芳町浄水場	三芳町	配水塔 1,010 m ³ 、着水井・浄水池 400 m ³	H23~25	534,135千円	無
④その他	防災行政無線デジタル化移行整備事業	三芳町地内	三芳町	同報系防災行政無線 親局・操作卓1局、子局31局	H27~30	132,000千円	有
	富士塚拠点ゾーン地区都市基盤整備	富士塚拠点ゾーン地区	三芳町	公園2箇所(4,550 m ²)、耐震性貯水槽(40 m ³)1基、都市計画道路竹間沢・大井・勝瀬通り線(うち191.98m)	H26~H31	902,000千円	無
	防災情報ステーション等整備事業	役場庁舎、藤久保公民館、竹間沢公民館、中央公民館	三芳町	防災情報ステーション4基	H25~H26	32,000千円	無

■主要道路、鉄道、河川等の現況図

おもな施設

三芳パーキングエリア 三芳スマートIC

国道254号(川越街道)

東武東上線

国道463号

関越自動車道

柳瀬川



1:10,000

凡例	
●	市庁舎
○	町庁舎
□	区庁舎
△	支庁庁舎
◇	警察署
■	消防署
▲	保健所
●	国民健康センター
○	保健センター
□	公民館
△	児童館
◇	青少年センター
■	図書館
▲	博物館
●	美術館
○	資料館
□	天文台
△	観望所
◇	観音堂
■	神社
▲	仏教寺院
●	基督教会
○	イスラム教
□	その他



■防災行政無線デジタル化移行事業

三芳町全図

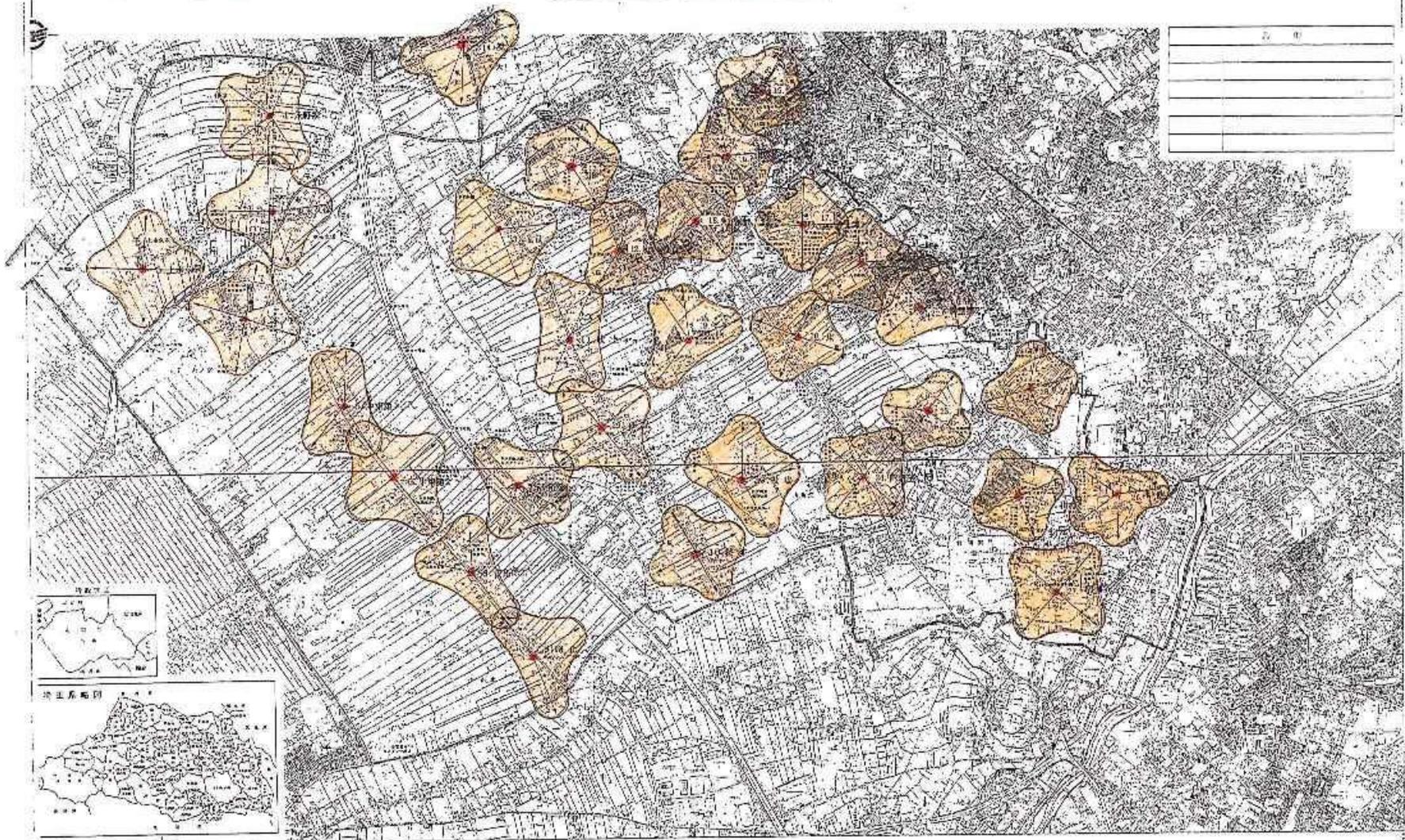


表 01	



1:10,000

三
芳
町

